

## 「石川の森林に関する県民意識調査」結果概要

## 1 調査概要

	H10県調査	H15世論調査
(1) 調査対象 満18歳以上の県民の中から無作為に3千人を抽出	2,085人	3,000人
(2) 回答状況 回答者数 1,452人(回収率48%)	878人(42%)	2113人(70%)

## 2 調査結果

## (1) 森林への親しみや認識

森林に親しみを感じている人の割合	91%	(95%)	(88%)
1年以内に森林に行ったことがある人の割合	73%		
森林に恩恵を感じている人の割合	91%	(95%)	
の恩恵を感じている人が期待する森林の働き(上位3件、複数回答)			
・地球温暖化防止に貢献する働き	1 [60%]	3(50%)	2(42%)
・水資源を蓄える働き	2 [57%]	2(56%)	3(42%)
・災害を防止する働き	3 [55%]	1(68%)	1(50%)

## (2) 森林・林業を取り巻く問題

## 森林管理の現状

・手入れが不足している	41%
・わからない	38%
・適切に管理されている	10%

## 森林を守り育てていく上で、必要に思うこと(上位3件、複数回答)

・植林の実施	[58%]
・間伐等の実施	[53%]
・森林整備の担い手やボランティアの育成	[48%]

## (3) 今後の森林整備のあり方

## 森林の維持管理のための協力

・積極的に協力したい	4%
・できる範囲で協力したい	71%
・協力したくない	5%

## の協力したい人が考える費用負担額

・年間1,000円程度	50%	(53%)
・年間500円程度	27%	(20%)
・年間2,000円程度	16%	(17%)

## の協力したい人が参加したい活動

・県市町村が実施する森づくりイベント	55%	(38%)
・気のあった仲間と独自に活動	13%	(9%)
・森づくりのNPOに加入して活動	10%	(12%)

## (4) 森林に関する自由意見(上位3件)

・植林・間伐等が必要といった森林の整備に関する意見 [233件]
・森林は大切といった自然環境の保全に関する意見 [148件]
・イベントや環境教育などの普及啓発推進に関する意見 [123件]

- ・森林への親しみは、前回調査と同様に9割を越え非常に高く、この傾向は全国も同様
- ・期待する森林の働きの上位3項は前回及び全国と同様であるが、近年の環境問題から地球温暖化防止が増加
- ・協力したい人が考える費用負担額は、前回同様の傾向
- ・協力したい人が参加したい活動は、前回同様に県等が開催する行事への参加が最も多い
- ・2回の調査で県民の森林に対する意識や協力姿勢が確認された